

第44回高齢者排泄ケア講習会

日 時：平成 27 年 8 月 21 日(金) 19:00 ~ 20:45

場 所：福岡国際会議場 国際会議室 501

〒812-0032 福岡市博多区石城町 2-1 裏面の地図をご覧下さい

参加費：1,000 円 募集定員：200 名 Field : B

Field A : 排尿管理 / Field B : 排便管理 / Field C : 感染対策 / Field D : その他（スキンケア・オムツはずし・認知症・介護・保険他）

詳細はホームページ「排泄ケア認定制度のご案内」をご参照ください。

テーマ：高齢者の排便ケア

開会の挨拶：宮崎 良春 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 理事長）

座長：荒木 靖三 先生（大腸肛門病センター くるめ病院 院長）

講演：『原点にもどる高齢者の排便ケア』

講師：西村 かおる 先生

（NPO 法人日本コンチネンス協会 会長 / コンチネンスジャパン株式会社 専務取締役）

～講師からのコメント～

一般的に加齢とともに便秘、下痢ともに有症率は増加する。また 3 日排便がないからという理由で下剤を服用した結果、下痢となり便失禁となっている人も多い。更に経管栄養による下痢、便失禁も臨床的によく出会う排便障害である。

医療機関では、その対応として薬剤が優先されることが多いが、本来は一人ひとりの身体、心理、そして生活状況をアセスメントし、例え高齢であっても、その方の自然治癒力を引き出すような排便ケアを実施することが原則である。そのためには、食事、腸内細菌叢を整えること、運動、リラックス、生活リズムを整え、トイレ環境を良くすることが重要である。これらは排便のためだけではなく、健康になるために重要なこととして常識となっていることだが、実際には実行されているとは言いたい。高齢だからと、認知症だからとあきらめないで、どのようにアセスメントし、排便ケアを実践するのか、そのポイントをお伝えしたい。

閉会の挨拶：山口 秋人 先生（特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会 副理事長）

共催：特定非営利活動法人 福岡高齢者排泄改善委員会、アステラス製薬株式会社
後援：福岡市泌尿器科医会、福岡市医師会、福岡県看護協会

NPO 法人 福岡高齢者排泄改善委員会 事務局（月曜～金曜 9:00～17:00 土・日・祝日 休）

〒812-0033 福岡市博多区大博町 1-8 TEL: 092-282-5910 FAX: 092-282-5812